

平成9年茨城県消費者物価指数（年報）

—— 総合指数は101.3 前年に比べ1.5%上昇 ——

1. はじめに

この調査は、県内の消費者物価指数の動向を明らかにすることを目的に、水戸市、日立市、土浦市、下館市、古河市、取手市、つくば市、友部町、鹿島地方（1市2町）の8市3町における平均値を580品目から算出したものである。

2. 概況

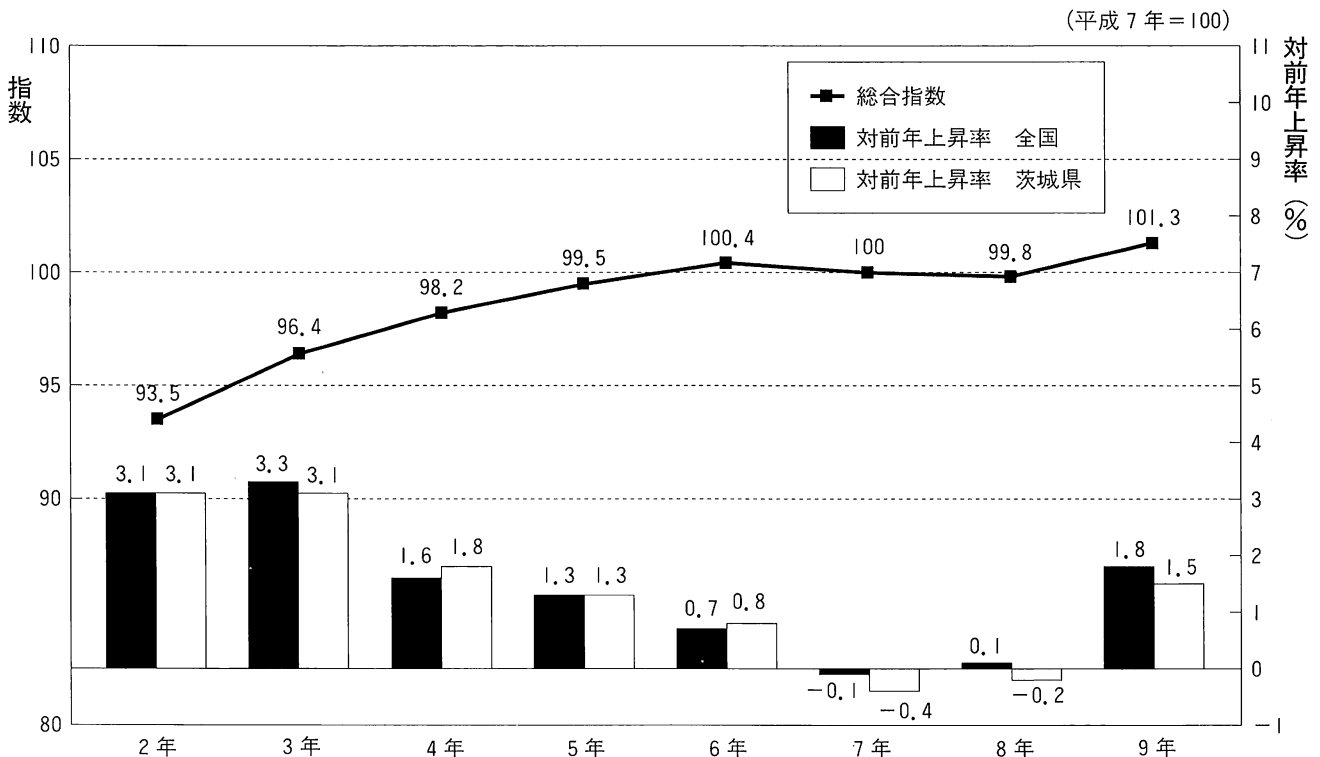
平成9年の茨城県消費者物価指数は総合で101.3（平成7年=100）となり、前年に比べ（+）1.5%上昇した。

近年の総合指数の動きを対前年上昇率で見る

と、消費税の導入などにより平成元年（+）2.4%上昇した後、2年、3年は天候不順などの影響もあって3%台の上昇となった。4年は（+）1.8%、5年も（+）1.3%と1%台の上昇となった。6年は（+）0.8%と昭和63年以来6年ぶりに1%を下回る安定した動きとなり、7年は（-）0.4%と現在の算定方法となった昭和46年以降ではじめて下落となった。8年も（-）0.2%と2年連続で下落した。

平成9年は、4月の消費税率の引き上げや9月の医療保険制度の改正等により、（+）1.5%と平成6年以来3年ぶりの上昇となった。

茨城県消費者物価指数及び対前年上昇率の推移



3. 年間の動き (対前年同月上昇率でみた場合)

平成9年は昨年と比べて全般的に上昇しているが、この1年間における月別の総合指数の動きを対前年同月上昇率で見ると、1月は(+) 0.6% 、2月は(+) 0.7% 、3月は(+) 0.4% とそれぞれ上昇し、4月は消費税率の引き上げがあり、(+) 1.6% と大きく上昇した。

その後、5月は肉類・洋服の上昇などにより(+) 1.3% 、6月は生鮮野菜や果物の上昇により(+) 1.8% 、7月は肉類・洋服などの上昇により(+) 1.6% とそれぞれ上昇し、8月は生鮮魚介の上昇などにより(+) 1.7% の上昇となった。9月は医療保険制度の改正等により(+) 1.9% の上昇となり、10月は冬物衣料の出回り変化などにより(+) 2.0% の上昇となった。11月は洋服・教養娯楽サービスなどの上昇により(+) 1.9% の上昇、12月は生鮮魚介などの上昇により(+) 1.7% の上昇となった。

4. 月別の動き (対前月上昇率でみた場合)

- 1月…果物、電気代等の値上がりで「食料」、「光熱・水道」などが上昇したものの、冬物処分による、衣料、電子レンジなど家庭用耐久財の値下がり、「被服及び履物」、「家具・家事用品」などが下落したことにより、総合で(-) 0.2% の下落となった。
- 2月…電気・ガス代、教養娯楽耐久財等の値上がりで「光熱・水道」、「教養娯楽」などが上昇したものの、衣料、家庭用耐久財等の値下がり、「被服及び履物」、「家具・家事用品」などが下落したことにより、総合で(-) 0.2% の下落となった。
- 3月…保健医療用品・器具、教養娯楽耐久財等の値下がり、「保健医療」、「教養娯楽」などが下落したものの、電気・ガス代、衣料等の値上がりで「光熱・水道」、「被服及び履

物」などが上昇したことにより、総合で(+) 0.1% の上昇となった。

- 4月…消費税率の引き上げなどのため、衣料、補習教育、野菜・海藻等の値上がりにより「被服及び履物」、「教育」、「食料」などすべての費目で上昇したことにより、総合で(+) 1.8% の上昇となった。
- 5月…衣料、果物等の値下がりにより「被服及び履物」、「食料」などが下落したものの、家庭用耐久財、自動車等関係費等の値下がりにより、「家具・家事用品」、「交通通信」などが上昇したことにより、総合で(+) 0.1% の上昇となった。
- 6月…シャツ・セーター・下着、保健医療用品・器具等の値下がりにより、「被服及び履物」、「保健医療」などが下落したものの、野菜・海藻、上下水道料等の値下がりにより「食料」、「光熱・水道」などが上昇したことにより、総合で(+) 0.2% の上昇となった。
- 7月…家賃、上下水道料等の値上がりにより「住居」、「光熱・水道」などが上昇したものの、果物、衣料等の値下がりにより、「食料」、「被服及び履物」などが下落したことにより、総合で(-) 0.5% の下落となった。
- 8月…魚介類、教養娯楽用品等の値上がりにより「食料」、「教養娯楽」などが上昇したものの、家賃、衣料等の値下がりにより「住居」、「被服及び履物」などが下落したことにより、総合で前月と同水準となった。
- 9月…魚介類、他の教養娯楽等の値下がりにより、「食料」、「教養娯楽」などが下落したものの、衣料、保健医療サービスの値上がりにより、「被服及び履物」、「保健医療」などが上昇したことにより、総合で(+) 0.6% の上昇となった。
- 10月…設備修繕・維持、自動車等関係費等の値下

■調査から

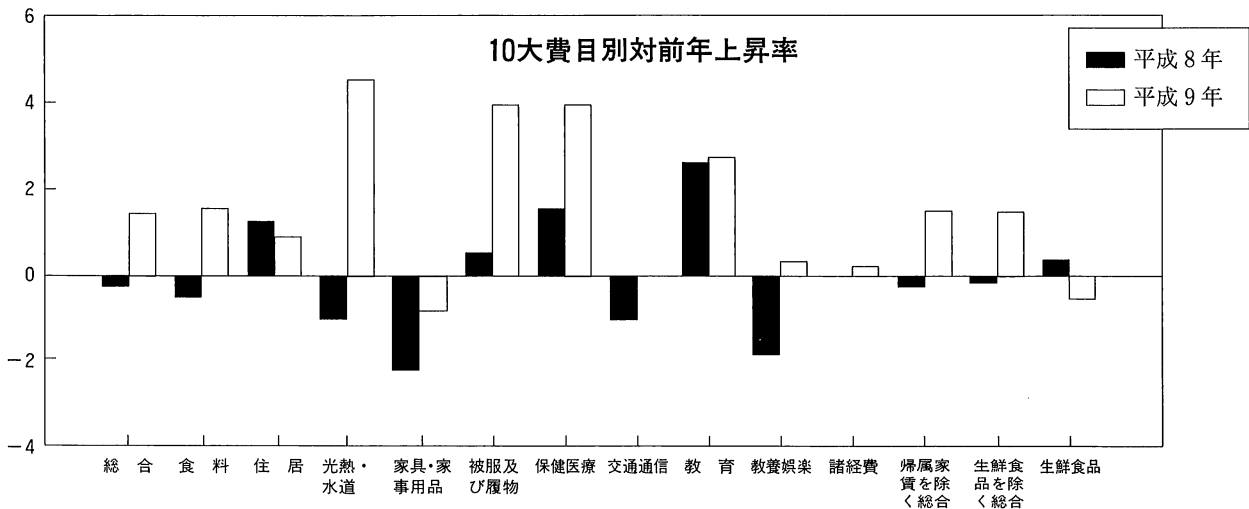
がりにより、「住居」、「交通通信」などが下落したものの、果物、衣料等の値上がりにより、「食料」、「被服及び履物」などが上昇したことにより、総合で（+）0.2%の上昇となった。

11月…衣料、他の教養娯楽等の値上がりにより、「被服及び履物」、「教養娯楽」などが上昇したものの、野菜・海藻、他の家具家事用品

品等の値下がりにより、「食料」、「家具・家事用品」などが下落したことにより、総合で（-）0.4%の下落となった。

12月…魚介類、家賃等の値上がりにより、「食料」、「住居」などが上昇したものの、衣料、交通等の値下がりにより「被服及び履物」、「交通通信」などが下落したことにより、総合で前月と同水準となった。

5. 10大費目別指数の動き

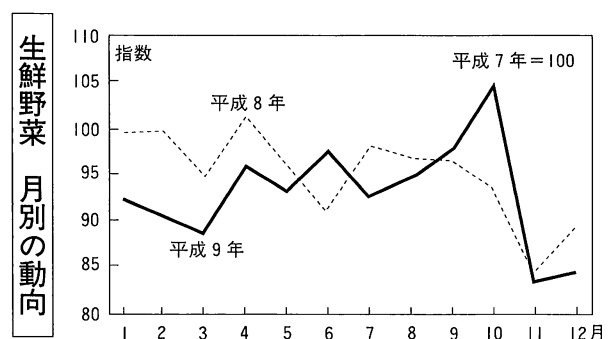
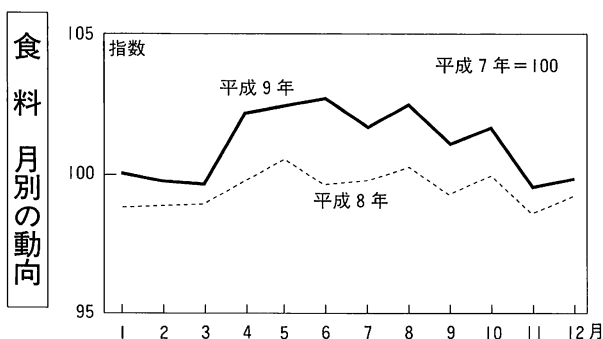


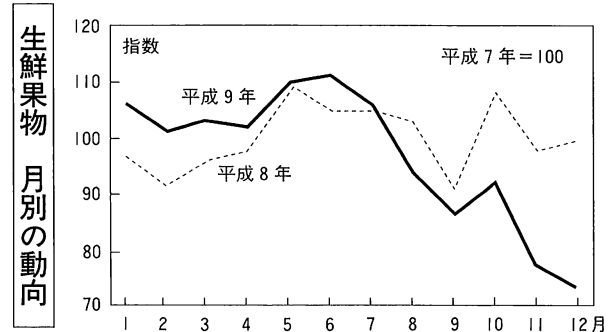
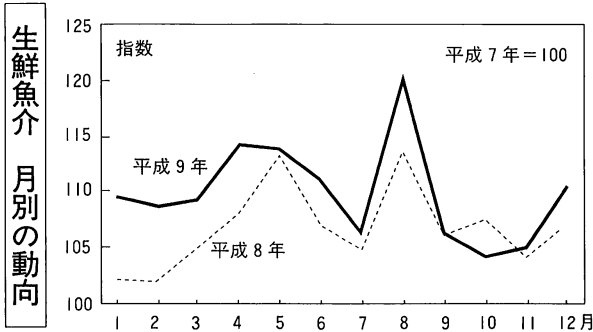
(1) 食料は101.1となり、前年平均に比べ（+）1.6%上昇した。生鮮食品についてみると、生鮮魚介は10月を除き年間を通して前年の水準を上回り、（+）3.0%上昇となった。

生鮮野菜は、概ね前年の水準を下回り、（-）2.2%の下落となった。また、生鮮果物は、8月以降に前年を下回ったため、（-）3.1%下落と

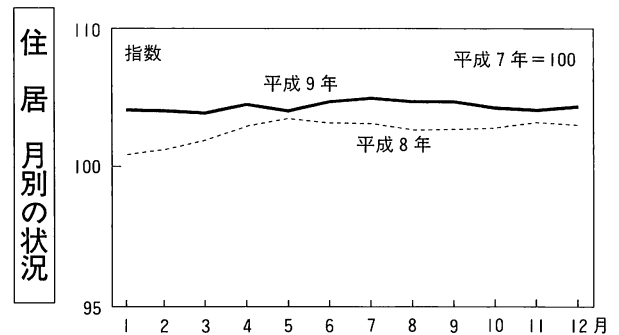
なり、生鮮食品全体では、（-）0.5%の下落となった。

生鮮食品以外では、穀類が（-）0.3%下落となったほか、肉類（+）5.6%、乳卵類（+）0.1%、油脂・調味料（+）1.8%、菓子類（+）1.2%、調理食品（+）1.1%、飲料（+）2.3%、酒類（+）0.7%、外食（+）2.6%などがそれぞれ上昇した。

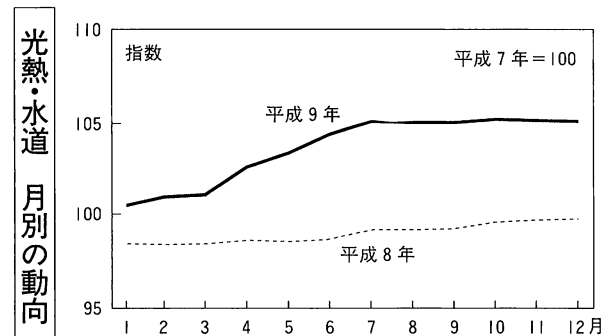




(2) 住居は102.2となり、前年平均に比べ (+) 0.9%上昇した。内訳をみると、家賃 (+) 0.8% 上昇，設備修繕・維持は (+) 1.6%の上昇となった。



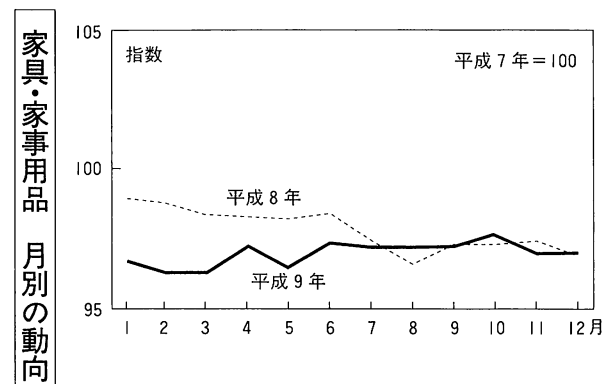
(3) 光熱・水道は103.6となり、前年平均に比べ (+) 4.6%上昇した。内訳をみると、電気・ガス代は、電気代，ガス代とも前年水準を上回ったため， (+) 4.7%上昇した。



他の光熱は、灯油が前年の水準を上回ったことにより， (+) 6.0%の上昇となった。

また、上下水道料は (+) 3.9%の上昇となった。

(4) 家具・家事用品は97.0となり、前年平均に比べ (-) 0.8%下落した。



内訳をみると、家庭用耐久財が電子レンジ等の家電製品を中心に (-) 3.6%下落した。

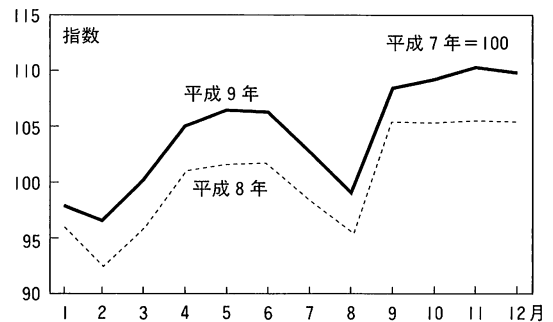
また、室内装備品 (-) 0.4%，家事消耗品 (-) 2.3%がそれぞれ下落したものの、寝具類 (+) 2.8%，家事雑貨 (+) 1.4%，家事サービス (+) 2.3%がそれぞれ上昇したため，他の家具・家事用品は (+) 0.4%の上昇となった。

■ 調査から

(5) 被服及び履物は104.4となり、前年平均に比べ（+）4.0%上昇した。

内訳をみると、衣料は和服・洋服とも値上がりし（+）5.3%の上昇、シャツ・セーター・下着は、シャツ・セーター類・下着類とも値上がりし（+）3.4%の上昇、履物類も（+）0.6%の上昇となった。また生地・他の被服類も（+）3.6%の上昇となった。

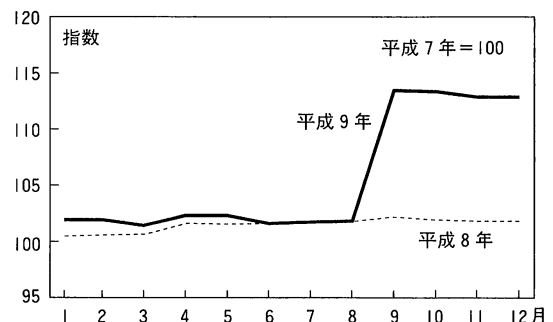
被服及び履物
月別の動向



(6) 保健医療は105.7となり、前年平均に比べ（+）4.0%上昇した。

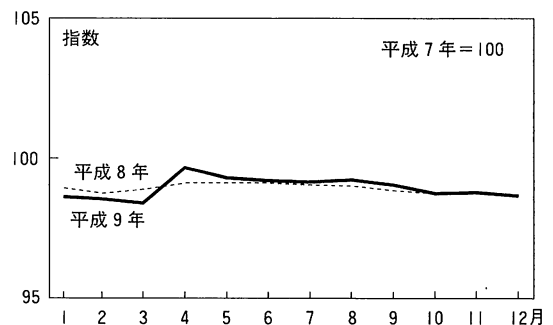
内訳をみると、保健医療用品・器具が（-）1.8%の下落となったものの、医薬品（+）0.7%、保健医療サービス（+）8.9%などいずれも上昇した。

保健医療
月別の動向



(7) 交通通信は99.0となり、前年と同じとなった。内訳をみると、交通は鉄道運賃（JR以外）の値上げなどにより（+）1.2%の上昇となったが、自動車等関係費はガソリンなどの値下げにより（-）0.4%、通信は通話料などの値下げにより（-）0.4%とそれぞれ下落した。

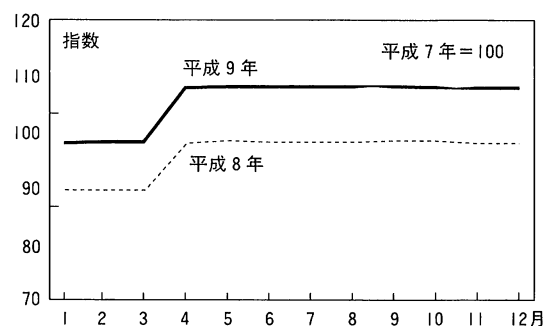
交通通信
月別の動向



(8) 教育は105.6となり、前年平均に比べ（+）2.8%上昇した。

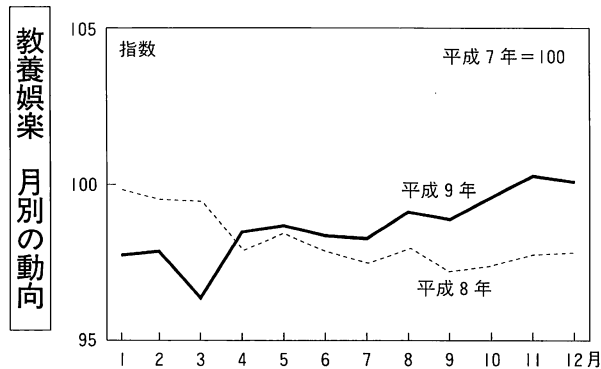
内訳をみると、授業料等は平成9年4月の授業料などの値上げにより（+）2.3%の上昇、教科書・学習参考書は（+）2.1%、補習教育は（+）4.3%の上昇となった。

教育
月別の動向



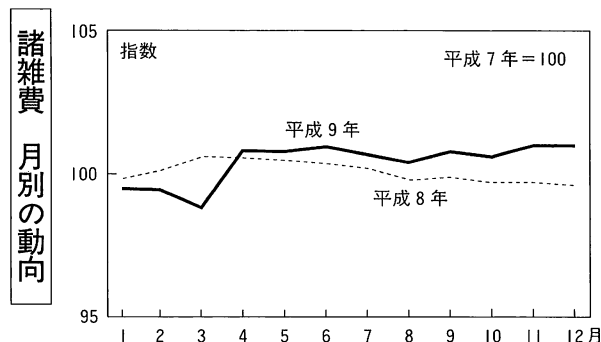
(9) 教養娯楽は98.6となり、前年平均に比べ(+)
0.4%の上昇となった。

内訳をみると、教養娯楽用耐久財がVTRなどの教養娯楽用の家電製品などの値下がりにより、(-)12.7%の下落となったものの、教養娯楽用品(+)
0.2%、書籍・他の印刷物(+)
2.4%、教養娯楽サービス(+)
2.1%とそれぞれ上昇したことから、全体で(+)
0.4%の上昇となった。



(10) 諸雑費は100.3となり、前年平均に比べ(+)
0.3%の上昇となった。

内訳をみると、理美容用品は(-)
1.8%、身の回り用品はハンドバッグなどの値下がりにより(-)
0.5%下落したが、理美容サービス(+)
1.9%、たばこ(+)
1.7%はそれぞれ上昇した。



6. 市別指数の動き

総合指数の対前年上昇率を市別にみると、土浦市のみ総合指数が前年より(+)
0.2%と上昇したが、他の市は軒並み下落した。なお、日立市は前年と同一となった。

茨城県平均の(-)
0.2%を超える下落を示したのは、取手市(-)
0.6%、古河市(-)
0.5%、水戸市(-)
0.4%であった。下館市は(-)
0.1%となり、つくば市、鹿島地方は県平均と同じであった。

市別10大費目指数の対前年上昇率（平成9年）

	全 国	茨 城 県	水 戸 市	日 立 市	土 浦 市	古 河 市	下 館 市	取 手 市	つく ば 市	鹿 島 地 方
総 合	% 1.8	% 1.5	% 1.4	% 1.6	% 1.3	% 1.4	% 1.8	% 1.0	% 1.3	% 1.6
食 料	1.8	1.6	2.1	1.7	1.2	1.7	1.4	1.0	1.1	1.6
住 居	1.6	0.9	0.2	1.4	0.6	1.4	2.2	-0.8	0.8	1.9
光熱・水道	4.7	4.6	3.4	5.7	3.1	4.9	8.3	3.2	4.6	6.5
家 具・ 家 事 用 品	-0.9	-0.8	-1.2	-1.4	-0.4	-0.7	-0.6	-1.8	0.8	-0.8
被 服 及 び 履 物	2.3	4.0	4.0	4.3	3.9	3.8	3.4	5.3	4.1	3.3
保 健 医 療	4.6	4.0	3.4	3.9	4.3	3.7	3.9	4.1	4.6	4.7
交 通 通 信	0.0	0.0	0.1	0.2	-0.1	0.0	0.2	-0.2	-0.5	0.3
教 育	2.1	2.8	2.8	3.2	3.7	2.3	3.9	2.6	1.9	2.1
教 養 娯 楽	1.5	0.4	0.3	0.6	0.5	0.1	0.4	0.7	0.6	-0.1
諸 雑 費	1.6	0.3	0.6	-1.3	1.3	0.5	0.3	1.6	0.8	0.4